



2021.9

1 はじめに

秋も深まり、気温もだいぶ下がって参りましたが、いかがお過ごしでしょうか。「勉強の秋」の到来です。学年の目標はそれぞれ異なり、生徒達も個々人の目標は様々であると思いますが、夕暮れも早くなりますので、「秋の夜長」を利用してご家族でゆっくりと将来の目標を語り合い、生徒達の夢を聞いていただきたいと思います。

未だにコロナ感染の影響から様々な制限が行われていますが、生徒達の青春の時間は刻一刻と過ぎていきます。大切な高校3年間を充実した時間とするためにも、コミュニケーションを欠かさず、学校での出来事など、確認してください。また、ご心配なことがございましたら、遠慮無くお尋ねください。

2 3年生この時期

①受験勉強の最もつらい時期です

部活動を引退し、本格的に勉強に取り組む時間ができてから、数ヶ月が経ちました。3年生は、学校に残って勉強する生徒も多くなり、じつくりと学習に取り組む様子が多く見られるようになってきました。

しかし、全国の受験生も同様にスタートを切っておりますので、学習した成果が数字となって現れるまでには、多くの時間を要するのが例年の傾向です。学習を開始してから約4ヶ月間は結果が伴わず、苦しい時期が続くようですので、根気と粘りが必要になります。「もがく」ことによって、自分自身を深く理解し、将来への目標も明確になって参ります。

②受験の戦略を練る時期です

この時期になりますと、大学案内が出そろい、募集要項等も出されるようになります。また、私立大学の試験日程も発表になり、受験シーズンの全体像が見えて参ります。

生徒は、残り時間を気にしながら、いつ、どんな勉強を、どんな風に準備するのかをイメージしやすくなり、学習のペースがアップしているはずです。

それに伴い、受験日程をよく見ながらどの大学をどんな順番で受験するのか、宿をどうするのかなど、具体的な事務手続きも必要になってきます。保護者の皆様のご協力がどうしても必要になって参ります。生徒が学習に専念できるよう、手続き等にご配慮をお願い申し上げます。

③目標を知り、自分を知る

10月には外部模試が3回（進研1回、全統2回）行われ、個人的に受験するオープン模試も毎週のように実施されます。その結果を見ながら、一喜一憂するだけではなく、自分の目標との差を再確認し、今後の進路を熟考する時期です。

「夢」を現実のものとするために、冷静な分析と判断が求められます。ご家族での話し合いを大切にしてください。12月の三者面談までに、十分に情報収集し、検討を行ってください。

3 2年生この時期

①初めて、5教科模試が始まります。

高校入学時から1年半は、国数英の3教科型で模擬試験を受けてきましたが、10月末からは、5教科6科目型の受験に変わります。初めて本番の受験に近い模擬試験となるため、受験生としての実感が芽生えてくる大切な試験です。

準備のための学習量も格段に増加し、今後1年半の高校生活のスケジュール管理を考え始める大切な時間が始まります。ご家庭でも、是非お時間を取っていただき、本人の夢の実現のためにアドバイスをお願いいたします。

②コース選択について

11月をめどに、次年度のためのコース選択が行われます。「国公立型」か「私立型」か。文理の選択は変えられませんが、文系理系の中で、2つのコースの選択が行われます。将来

の自分の生き方や職業なども参考にしながら、進むべき道を選んでいただきます。

不確かな時代となり、十数年後の世界は、現在の職業が65%位消滅している、と预言されていますので、現在の職業にこだわらず、どんなスキルを身につけたいのかをご検討いただきたいと思います。

③INゼミがスタートしました

9/29放課後に説明会が行われ、コロナ禍で少々遅くなりましたが「石橋高校難関大合格ゼミ」がスタートしました。難関国立10大学や難関私立大学をめざす諸君のためのゼミが行われ、高い意識で、各自の持つ興味関心を深め、難解な課題に取り組むための準備を行います。もちろん難関大学への進学をめざすゼミ講座ですから、しっかりとした前向きな心構えで取り組んでいただきます。本校生の持っている可能性を最大限に生かすために、努力してほしいと思います。

4 1年生この時期

①高校生の取組を始める

中学校までの「教えてもらう」というスタイルから「自ら学ぶ」というスタイルに脱皮することが求められます。授業を中心としながらも、実社会における様々なニュースや出来事に興味関心を持ち、その課題の本質を見抜き、他者と議論できるスキルが求められるようになってきています。「主体的な学び」ができるよう、日頃からアンテナを高くして将来の夢を考えていただきたい時期です。

②文理選択を考える

大学進学を考えるために、まず、「文系」か「理系」かを選択する必要があります。近年は、文理融合型の受験スタイルも散見されますが、いまだに圧倒的に「文・理」を分けて募集している大学が多いことは言うまでもありません。

昨今は、「とりあえず理系」という判断では、就職活動も困難になります。本人の適性を見極め、将来の職業も含めてじっくりと話し合ってください。これが大切になります。

③学部・学科研究が進んでおります

大学進学は、「普通科」「職業科」を選ぶような、大まかな選択ではなくなります。学部・学科によって学ぶ内容も研究対象も大きく異なってきます。大学の難易度も学部によって異なりますので、単純に大学単位のランキングではなくなります。

大学進学を考える際に大切なのは、今後4年間の学びの中で、何を目標として過ごすのかを「知ること」、そして「比較すること」「体験すること」です。オープンキャンパスが制限されていることは誠に残念ですが、学部・学科を調べながら、大学生活もイメージしてほしいと思います。

5 受験生としての心構えについて

①3年生に限らず、それぞれの学年で取り組むべき課題が山積しております。学校の指導だけに頼らず、大学の発信する情報や体験講座にも積極的に目を向けてほしいと思います。昭和平成の時代とは大きく異なる、令和の「オンライン時代」が到来しております。進んで情報をキャッチし、正しい情報を精査して取り入れることも重要な心構えとなってきます。

②すべての手続きを受験生個人の責任で行います。受験のための願書作成や調査書申請、出願のための書類の準備や宿の手配、受験料の振り込みなど「学習以外」の時間も多く取られます。（ただし、共通テストの出願のみは学校単位で行います）保護者の皆様にもご尽力いただく時間が多く発生しますので、ご協力をお願い申し上げます。

③情報を記録する力、スケジュールを管理する力、複数のデータから分析する力、自己表現する力など、単純に記憶力をテストする入試では無くなってきています。日常の心遣いが合否に影響してきます。日々の提出物や「石高手帳」への記録など、個人の心構えが大切になってきます。

④部活動やボランティア活動、外部英語検定試験など、勉強時間以外の活動が評価されるケースも出てきています。留学経験も含め、個人の経験や努力が求められる入試もありますので、担任とよくご相談ください。

生徒達の大切な青春の時間を生かしながら、夢の実現をめざしてほしいと思います。ご不明な点等は是非ご相談ください。進路指導部